

感じ取る 伝え合う より深く

名古屋市音楽教育研究会会長
弥富小学校長 中村 千秋



「ナゴヤ学びのコンパス」の理念のもと、それぞれの学校では、尊重・対話・チャレンジを大切にしながら、子どもたちの学びに伴走する授業改善を進めているところではないでしょうか。

音楽科においては、子どもが思いや意図をもって学びに向かう姿に、私たち教師が、一人一人にきちんと目を向け、どう支援していくかということを中心に考えていかなければなりません。さらに、楽曲の魅力をいかに子どもたちに伝えるか、伝えるためには、教師自らがその楽曲の魅力を感じ取り、心動かされることが大切だと考えます。

本研究会では、研究部会や研修会を中心に、互いの実践を共有し、全ての子どもが心動かされ、夢中になって探究する姿を目指し、私たちも、感じ取り、伝え合って、学びを深めていけたらと願っています。

音楽教育講演会・総会

5月21日(水) イーブルなごや

令和5・6年度音楽科指導員の野立小学校徳田幸子先生より、「指導員訪問を通して」をテーマにご講演いただきました。

表現や鑑賞などに生かして更新していけるような知識を育むためには、実感を伴いながら習得できるように、題材を組み立てたり発問を工夫したりすることが大切であると学ぶことができました。

参加者同士で、普段の授業を振り返ったり、知識について考えを述べ合ったりするなど、参加型の講演に充実したひと時を過ごすことができました。

研究主題について

名古屋市音楽教育研究会副会長
名古屋市音楽研究会委員長
福春小学校 笹木 美幸



子ども中心の学びを軸に、子どもたちが音や音楽を通して仲間とつながり、共に音楽を楽しむ姿を目指したいと思います。そして、音楽によって心が動き、心を豊かにする経験をたくさん積んでほしいと考えています。そのためには、子どもたちが「表現したい」と思えるような曲との出合わせ方や、仲間と共に学ぶよさや楽しさを感じられるような教師の働き掛けが大切となります。また、仲間と思いや意図を共有し、よりよい表現を追究することができるよう、教師の的確な助言や支援も重要です。音楽科の学習が、人や音とのつながりによって、より深まりのある学びになるよう研究を進めていきたいと思っています。

皆様には、研究部会や音楽関係行事等に積極的に参加していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

今年度の音楽関係行事

令和7年8月8日(金)

夏季研修会 ほのか小学校

令和8年1月31日(土)

第25回名古屋市中学校合唱フェスティバル
〈名古屋栄ライオンズクラブ主催〉豊田講堂

令和8年2月11日(水)

冬季研修会 ルブラ王山

その他、学習会や生産・文化的部活動指導者講習会なども開催予定です。

研究部会活動報告

6月13日(金) 星ヶ丘小学校



教研推進部と研究部とのタイアップで、第1回研究部会が行われました。はじめに豊国中学校長の二階千晶先生より、「授業実践のまとめ方」のご講演をいただきました。授業実践をまとめる手順や意義だけでなく、日常の授業力向上につながる大切な考え方もご講演

くださいました。改めて「授業実践のまとめを書いてみたい」と思える講演内容でした。

その後は、教研実践者と研究部に分かれて、指導者との打合せや交流を行いました。



令和7年度名古屋市教育研究員

中川区 荒子小学校 齋藤沙織先生
研究テーマ

「音楽的な見方・考え方を働かせ、
思いをもって音楽づくりの活動に
取り組む児童の育成
ー 体を動かす活動と比較聴取を通してー」

会報「名音教」は、年3回発行します。
第83号は12月2日、第84号は3月10日に発行予定です。

名音教の活動や過去の会報は、音研のHPでご覧ください。
会員申し込みも可能です。

お問い合わせは
名音教広報部 野立小学校
徳田幸子まで

